

表 社会保障または医療の給付と負担についての全国意識調査の一覧

調査者	調査年	調査項目	調査方法	調査対象	有効回答	設問	(%)
内閣府 ¹⁾	2020	社会保障制度	郵送調査	60歳以上	1367	税や保険料の負担を増やすこととなっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき	25.8
						税や保険料の負担を増やすこととなっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき	41.3
						税や保険料の負担を増やさないようにするためには、社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない	10.6
						わからない・無回答	22.2
厚生省 ²⁾	2022	社会保障	留置自計	20歳以上	7128	社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない	16.9
						社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	32.7
						社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない	12.5
						社会保障の給付水準を引き下げ、従来通りの負担とすべき	7.6
健保連 ³⁾	2022	医療保険	Web調査	20-79歳	3000	社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	5.6
						わからない・その他・不詳	24.8
						医療保険の給付内容を改善すべきであり、それに伴う医療費の負担増はやむを得ない	10.2
						医療保険の給付内容を今の水準程度に維持すべきであり、少子高齢化による医療費の負担増はやむを得ない	17.4
三菱総研 ⁴⁾	2024	医療・介護	Web調査	20-60代	5000	医療保険の給付内容をある程度絞る一方で、少子高齢化による多少の医療費の負担増はやむを得ない	17.1
						医療保険の給付内容を絞り込み、今の水準程度の医療費の負担にとどめるべき	18.9
						医療保険の給付内容を大幅に絞り込み、医療費の負担を減らすべき	10.8
						わからない	25.6
長寿社会開発センター ⁵⁾	2024	社会保障	Web調査	65歳以上	1121	現在よりさらにサービスの給付水準を上げるべきであり、そのための負担増はやむを得ない	9.7
						現在と同程度のサービスの給付水準を維持するべきであり、そのための負担増はやむを得ない	41.2
						現在よりもサービスの給付水準を下げて、現在と同程度の負担を維持すべき	29
						現在よりもサービスの給付水準をさらに下げて、現在よりも負担を減らすべき	20.1
日本医療政策機構 ⁶⁾	2024-25公的医療サービス	Web調査	20歳以上	1000		社会保障の給付水準を引き上げるために、大幅な負担増もやむを得ない	2.3
						社会保障の給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむをえない	37.3
						社会保障の給付水準をある程度下げても、従来通りの負担とすべき	26.8
						社会保障の給付水準を大幅に引き下げて、負担を減らすことを優先すべき	17.6
出所：1)						わからない	16.1
						イノベーションの成果を享受するために経済的負担増加はやむを得ない	14.2
						現在の水準維持のために経済的負担増加はやむを得ない	42.4
						サービス水準を下げても現状の負担を維持すべき	23.3
						サービス水準を大幅に下げ負担も抑制すべき	20.1

出所：1) 内閣府「第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」
2) 厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室「令和4年社会保障に関する意識調査報告書」
3) 健康保険組合連合会「医療・介護に関する国民意識調査報告書」令和5年3月
4) 三菱総合研究所「社会保障制度改革の中長期提言」2024年6月
5) 長寿社会開発センター「『高齢者の社会保障に関する意識調査』とりまとめ報告書」令和6年11月
6) 日本医療政策機構「2025年日本の医療に関する世論調査」(調査期間：2024年12月26日から2025年1月7日)

注：設問の順番は負担増に賛成→負担減に賛成に統一（調査3）,6）の元調査は逆の順）
調査4）,6）は「わからない」等を除いて、百分率を計算したと思われる。